

大野台地の農地をみんなの力で守ろう！  
地域農業の維持発展・豊かな自然環境を未来につなげる

【類 型】 作業受託 + WCS + 主食用米

【組 織 名】 農事組合法人 大野台地  
(令和7年5月1日設立)

【所 在】 高知県田野町

【農業地域類型】 中間農業地域

【構成戸数・人数】 6戸、6人

【経営規模（令和7年度実績）】

WCS用稲 7.2 ha

主食用稲 1.0 ha

〔 作業受託作業  
・ 畔塗り 11 ha 〕



大野台地の風景

設立の経緯

○大野台地の資源を次世代につなげていくために、集落営農推進委員会を立ち上げ、集落営農について検討を始め、地域農業の維持発展・豊かな自然環境を未来につなげることを目的に平成23年12月に任意組織「東大野集落営農組織」を設立した。

○令和5年度からは組織のステップアップを図るため、法人化に向けた協議を始め、令和7年5月に（農）大野台地を設立した。

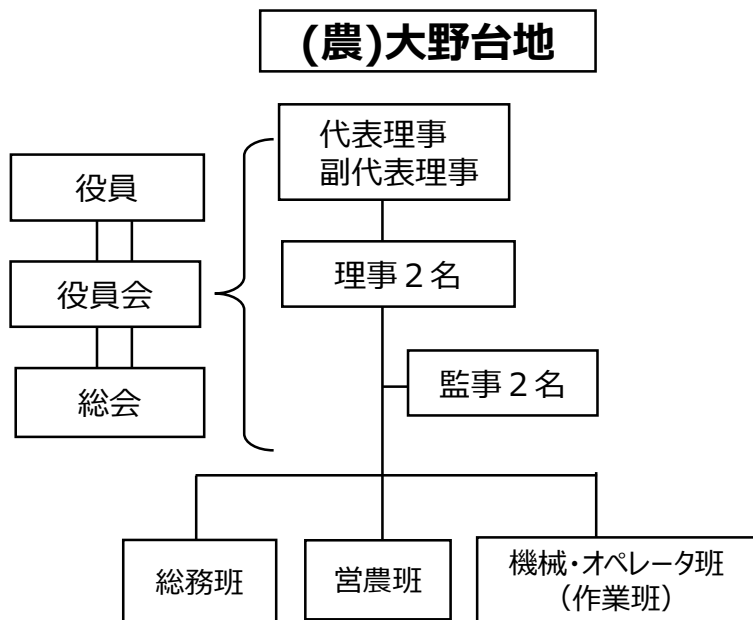
取組の特徴・効果

○地域で耕作できなくなった農地において、WCS用稲（稲発酵粗飼料）の栽培を行い、地域の農地が守られている。

○地域の畜産農家と連携しながらWCSを供給し、畜産農家の維持にも寄与している。

## 【具体的な取組内容】

### 組織体制図



設立総会風景



WCS収穫風景

## 【主な機械・施設】

機械名	能力	台数
田植機	5条植え	1台
トラクター	33ps、31ps	2台
草刈用乗用モア		1台
水田用畔塗機械		2台
WCSラッピング用機械		1台
WCS収穫用機械	5条刈り	1台

## 【課題・今後の取組】

- 法人経営の定着・体制強化に向けた取り組み
- WCS用稲の収量・品質の向上
- 今後も増加する放棄地対策として、経営計画に基づく合理的な農地管理の検討（飼料用米や主食用米等）
- 次世代の後継者やオペレータの確保・育成